

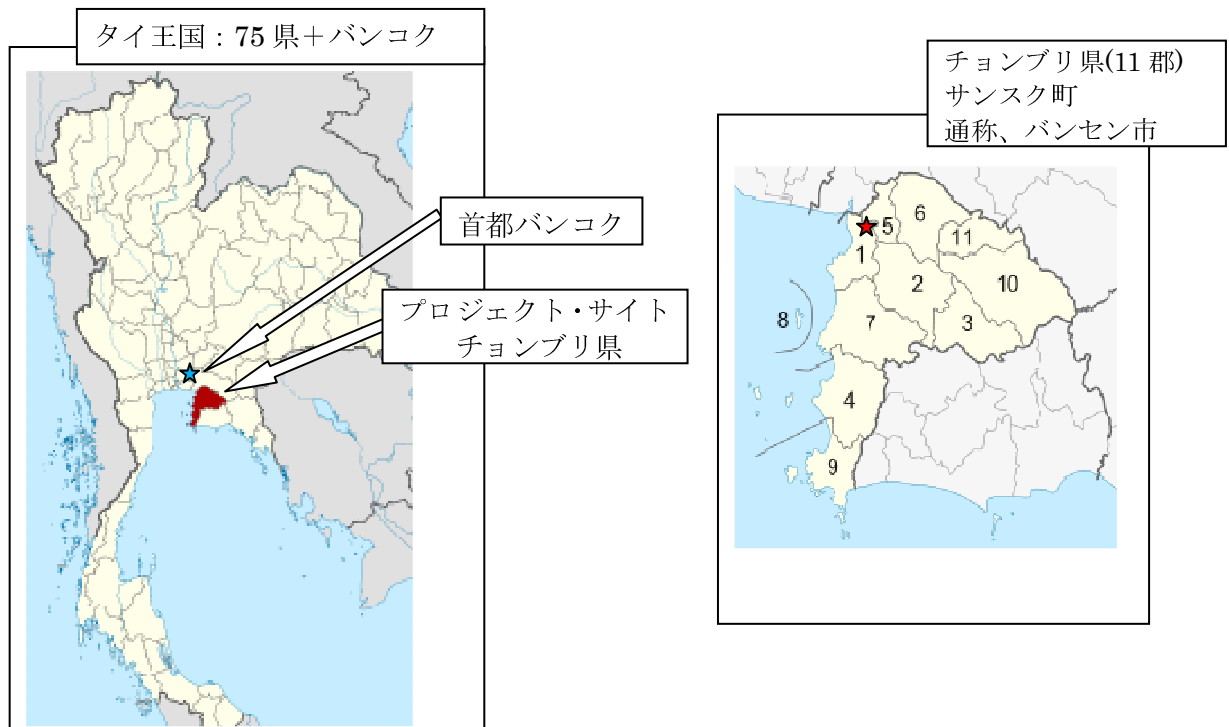
佐久大学は、佐久市との地域包括連携協定の中で JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）を開始しました。

期 間：平成 28 年（2016 年）1 月 ～ 平成 30 年（2018 年）12 月

プロジェクト名：タイ、チョンブリ県における町ぐるみ高齢者ケア・包括プロジェクト  
—サンスク町をパイロット地域として—

プロジェクトの目標：タイ、チョンブリ県、サンスク町における高齢者を対象とする地域包括ケアネットワークが構築され、介護、看護の人材が育成される。

プロジェクトの地理的な位置：



2014 年度、タイ保健省の最新の発表([http://web.nso.go.th/en/survey/age/tables\\_older\\_50.pdf](http://web.nso.go.th/en/survey/age/tables_older_50.pdf))によるとタイはすでに高齢社会へ突入し、高齢化率は 14.9% (60 歳以上、10,014,705 人) です。本プロジェクトを開始したサンスク町 (住民登録者約 5 万人) の高齢化率は約 10% で、地域における公的な高齢者ケアのサービスの改善を目指しています。佐久市のこれまでの地域高齢者対策「地域包括ケア—世界最高健康都市構想」を参考にしつつ、タイ、サンスク町の既存のお寺を中心とする伝統的な集会、家族による高齢者ケアを尊重し、地域で高齢者を守るシステムづくり、在宅看護、ヘルスポランティアによる在宅ケアを促進する活動を実施します。

### サンスク町でキックオフセミナー

プロジェクトの開始を地域のリーダーへ周知するためのキックオフセミナーが盛大に開催されました。

平成 28 年 4 月 22 日 (金) 9:00 - 15:30

参加者：180 名 サンスク町 (通称バンセン市) の地域のリーダー (26 区の区長、副区長、市議会議員、ヘルスポランティアリーダー、保健委員会リーダー、老人会リーダーら)

佐久市から下記の専門家が参加し、バンコクで日本大使館、JICA タイ事務所を表敬訪問し、セミナーでは、サンスク町町長が高齢者ケアについての方針、現在提供しているサービスについて発表し、次いで日本の専門家が佐久市の高齢者ケアの対策と現状、佐久総合病院の訪問看護システムの設立と当時の状況について発表しました。また、地域の高齢者の状況を視察しました。(柳田清二佐久市長、盛岡正博佐久学園理事長、関真美子佐久総合病院看護部長、山崎ひろ子佐久市福祉部高齢者福祉課長、東田吉子佐久大学プロジェクトマネージャー)



在日本大使館を表敬訪問

サミティベ病院  
では熊本地震の被災者支援バザーの準備中でした。



JICA タイ事務所、専門家らと意見交換



キックオフセミナーの参加者・ヘルスボランティアリーダーと共に



キックオフセミナーの参加者



ナロンチャイ町長も参加して訪問ケア中



ヘルスボランティアと一緒に訪問リハ



地区長らによる高齢者状況確認マップ



高齢者施設を見学  
JICAから青年海外協力隊PT山川さんが赴任中

**プロジェクトの目標：タイ、チョンブリ県、サンスク町における高齢者を対象とする  
地域包括ケアネットワークが構築され、介護、看護の人材が育成される。**

本プロジェクトでは、3年間に渡り看護グループ、介護グループの研修が実施されます。  
第一回看護研修が下記の通り実施されました。

看護研修：平成 28 年（2016 年）5 月 18 日～5 月 31 日

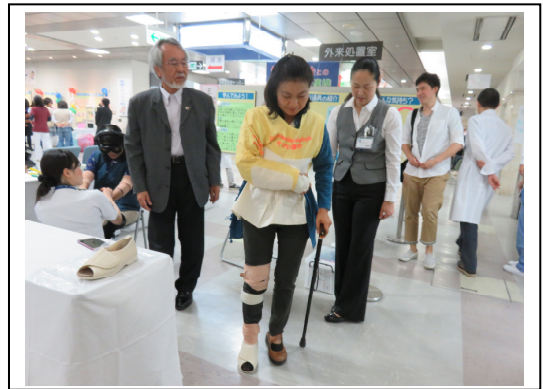
研修参加者：6 名（国立ブラパ大学医学部附属病院院長、国立ブラパ大学看護学部教員  
サンスク町看護師 2 名、国立高齢者施設理学療法士、国立タマサート大学  
看護学部教員（前国立ブラパ大学看護学部）

研修施設：佐久大学、佐久市、上田市、東京研修

研修内容：日本の保健医療システム、高齢者の理解、訪問看護システム、施設ケア、訪問診療・  
訪問看護、認知症の理解、退院後のリハビリテーション等



佐久大学で開講・オリエンテーション



佐久総合病院祭へ参加・高齢者を体験



佐久総合病院祭会場で伊澤統括院長と共に



佐久市、柳田市長を表敬し、面談中



高齢者の栄養について講義を受けました



講義後、試食しました。



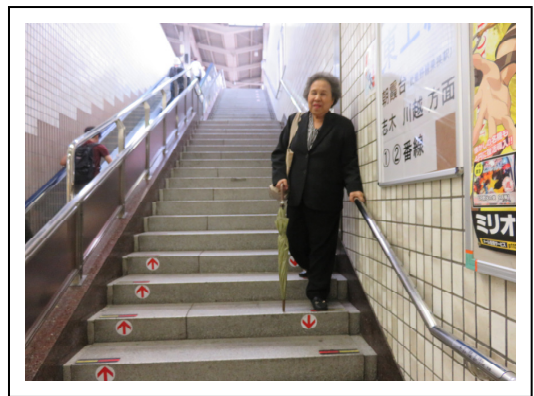
訪問看護について講義を受けました



「ローマンうえだ」で施設介護・看護研修



理学療法士によるリハの講義・演習



東京研修、駅の階段の手すりは高齢者への配慮



和室を体験しました。



保温配膳車「温かい食事と冷たい食事の」  
区分け配慮に感激しました。

評価会（5/30）で、研修員の新しい学びについて下記の3点があげられました。

1. リハビリテーション  
（早期リハビリテーションの開始、理学療法士と看護師の効果的な連携、病院から在宅へ継続的なリハビリテーション）
2. 訪問看護についての豊富な知識と技術
3. 高齢者への口腔ケア
4. 高齢者への栄養